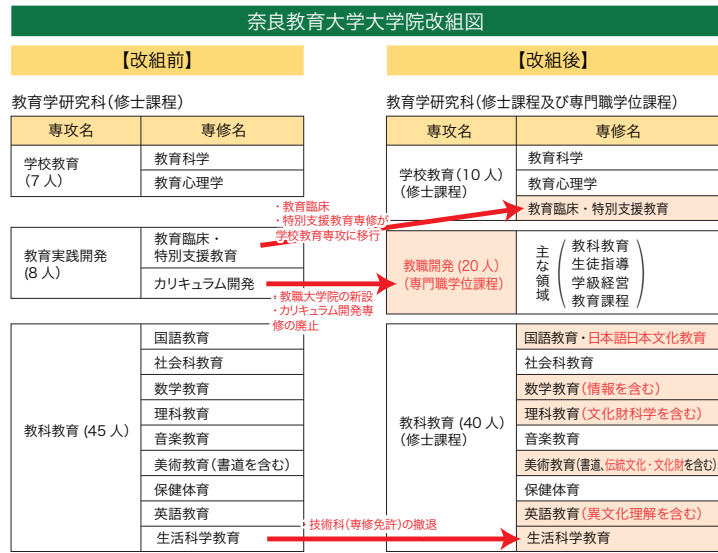


大学の取り組み



新たな組織は図のとおり。 が新たな領域を得て出発した専攻・専修である。

新たな組織

平成20年4月より、修士課程が改組された。教職大学院(専門職学位課程)の新設に伴い、新たな出発をしたのである。教育者に求められる力が複雑化・高度化する今日、修士課程もまた新段階を迎えている。教育の理論と実践に関する高度な専門性と実践的指導力を備えた、高度専門職業人が求められているのである。

修士課程の新たな出発 大学院改組

大学院改組準備委員長 上野 ひろ美

修士課程共通科目の展開

一回生全員が、修士課程共通科目を受講する。授業題目は「現代における学校教育の課題」文化・科学・芸術の現代的成果の最先端と子ども青年の発達をつなぐ」である。今日の学校教育が直面する課題を知り、文化・科学・芸術の内容を、子どもの発達のためにどう取り入れていくかを学ぶ。学長の講義に始まり、外部特別講師を含め、文化・科学・芸術・教育と、本学ならではの豪華で多様なジャンルの教員が、知恵を集めて担当している。

専攻共通科目、専門科目、修士論文

専攻共通科目として、学校教育専攻では「学校教育研究方法論」と「子ども理解特論」を、教科教育専攻では「教科授業研究特論」を学び、多彩な専門科目では、理論とともに実践事例を交えた教育内容によって学びを深化させ、最後に修士論文へと昇華させる。

なお、修士課程と専門職学位課程(教職大学院)は、相互に受講が可能となっている。(単位制限あり)

特色ある教育プログラムの展開

「地域と伝統文化教育プログラム」ほか

修士課程では、すべての院生が受講できる特色あるプログラムとして、「地域と伝統文化教育プ

大学の取り組み

ちよつと違う教職大学院の教育実習

教職開発講座教授 安藤 輝次

野球、冬ソナ、メジャー、ケロロ軍曹、クイズヘキサゴン、ミュージック・ステーション、ニュース、ドラエもん。

これは、年輩の人(実は現職教員で教職大学院生)が中学一年の教室で見ている(写真①右)、「思いつき自己PR」と題するシートに記された、「よく観るTV」の中で挙げられたものである。その向こうにいるのが学部卒の院生。さすが現職教員は、目の付けどころが違う。教室の掲示物から一人ひとりの子どもの特性を捉えて、その子の学びと関連づけようとする。学部卒の院生は、その学び方を見習って自然に学ぶようになる。もちろん



写真①

授業で気づいた事柄は、院生が所定の用紙にメモをしており、教室の前後からビデオ撮影をして記録に残す。そして放課後に、写真②のように、Q&Aの会がある。この写真は、小学校の授業を参観した後のQ&Aの会だが、事前に教職大学院教員を交えた検討会がある。だから、Q&Aでは十分考え抜いた質問を投げかけることができる。聞き方次第で、答える方も快く答えたり、そうでなかったりするが、院生はそこら辺の心得もできるようになる。

教職大学院一回生は、5月から6月にかけて週一日(小学校は木曜、中学校は火曜)、このように一日かけて授業を見て検討する。現職院生も小・中学校の両方に行くと、これまで異校種の訪問がほとんどなかったのが、「視野が広がった」という声も多い。

私たち教員は、教育実習に並行して「授業省察」「アクション・リサーチ」「ポートフォリオ」「ケース・スタディ」を受け持つ。これによって院生は、学校で見聞きした事柄と学問的研究とを関連づけていく。

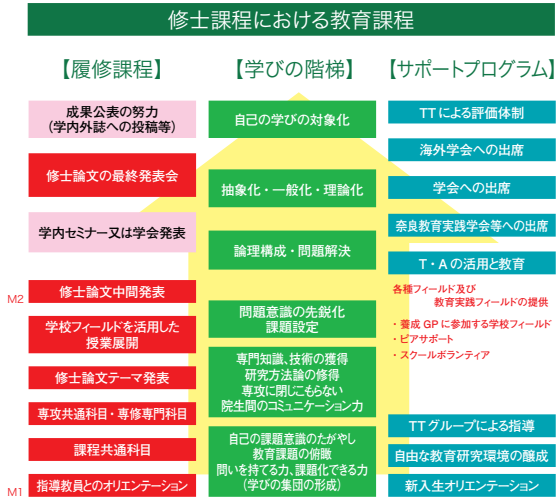
例えば、「アクション・リサーチ」の授業では、Q-U(学級経営の現状と改善法を示す評価法)を習い、その考え方を教科指導の根底にある学級経営のあり方に見出す。「ケース・スタディ」の授業では、科学の知よりむしろ臨床の知ではどうなるのかと考え、「授業省察」では、個々の授業に即して評価したり、改善案を出したりする。そして、「ポートフォリオ」の授業において、学びの歩みを辿って、成長や変容を可視化するのである。

院生は、教育実習や大学での授業の概要、気づきなどを、貸与のノートパソコンを使って、デジタル・ポートフォリオ(他の教員や院生もアクセス可能)に書き込む。だから、すべての院生のテックノロジーの力もアップすることは間違いない。そして教職大学院生は、10月の学校問題の組織的対応を学ぶ教育実習、二年次前期の自分のテーマに沿った課題解決型の教育実習へと進んでいく。

今、院生でホームページを作ったり、「院生便り」を出したりする計画が進められている。大学祭へも出展予定である。皆さんもこのような教職大学院に来て、一緒に学びませんか。



写真②



大学の取り組み

地域連携による 教員免許状更新講習試行について

免許状更新講習実施検討プロジェクト副座長

藤田 正

1. 教員免許更新新制導入と

奈良教育大学の役割

平成19年6月に教育職員免許法が改正され、平成21年度から教員免許更新新制が導入されることになりました。制度導入後に授与される免許状については10年の有効期間が、これまでの免許状については10年ごとの修了確認期限が各々定められ、該当期限までに免許状更新講習（必修領域12時間と選択領域18時間の計30時間）の受講・修了が必要とされました。

かねてより奈良教育大学は、奈良県における中核的な教員養成機関としての役割を果たすとともに、大学院への現職教員受け入れ、10年経験者研修、学校経営研修などの教員研修への取り組みを進めてきました。この実績を踏まえて、免許状更新講習についても、本学が中心となって開設する必要があるとの認識のもと、21年度からの本格実施において、必修領域に関しては奈良県内全教員の受講受け入れを行い、選択領域においても相当数の受講受け入れを行うことを基本的な方針として検討しています。

その一方で、教員のニーズに応じた多様な講習が実施できるよう、奈良県教育委員会及び県内大学と、19年度から免許状更新

2. 奈良県内大学間での連携と

「試行講習」実施に向けての取り組み

本年度は、文部科学省の委託を受けて、奈良県内の奈良女子大学、畿央大学、帝塚山大学、天理大学、大阪樟蔭女子大学、奈良芸術短期大学、及び奈良県教育委員会との連携協力のもと、試行としての更新講習（以下「試行講習」）を実施することになりました。今回の試行講習では、県内の他大学との連携・協力により、それぞれの大学の特色を活かした多様な講習が開設されることになっています。

試行講習については下記の表の通りです。

領域	開設日	開設講座名	主な対象	会場	受講人数	時間数
必修	7/5・6（土・日）	教育の最新事情	全教員	奈良教育大学	100人	12時間
選択	7/12（土）	教育内容の研究（「表現」を中心に）	幼稚園教員	大阪樟蔭女子大学（関屋キャンパス）	20人	6時間
選択	7/12（土）	心理学の視点から	全教員共通	大阪樟蔭女子大学（関屋キャンパス）	50人	6時間
選択	8/11（月）	教育内容の充実（中高美術教員用）	中高美術教員	奈良芸術短期大学	20人	6時間
選択	8/11（月）	社会科の授業内容への方法的接近	中高社会・地歴・公民教員	奈良教育大学	40人	6時間
選択	8/12（火）	中高国語科の指導と教育内容の充実	中高国語教員	奈良教育大学	50人	6時間
選択	8/13（水）	中高理科の指導と教育内容の充実	中高理科教員	奈良女子大学	30人	6時間
選択	8/13（水）	幼児の発達と教育	幼稚園教員	奈良教育大学	40人	6時間
選択	8/18（月）	教育内容の充実（全教員共通）	全教員共通	奈良教育大学	100人	6時間
選択	8/19（火）	教育内容の充実（小学校教員用）	小学校教員	奈良教育大学	50人	6時間
選択	8/20（水）	新教育課程における小学校教育	小学校教員	畿央大学	50人	6時間
選択	8/20（水）	中高保健体育科の指導と生徒指導	中高保健体育教員	天理大学（体育学部キャンパス）	30人	6時間
選択	8/20（水）	特別支援教育の当面する課題	特別支援教育関連教員	奈良教育大学	50人	6時間

写真で見る

大学120年

その2 大正・昭和期

明治21（1888）年に創設された本学は、本年、120周年を迎えます。11月22日には記念式典が行われ、他にも記念誌編集や記念講演などの記念事業が計画されています。明治期、大正・昭和期、平成期の三回に分けて、「写真で見る大学120年」をお届けしています。今回はその第二回、大正・昭和期です。

明治31（1898）年に、師範教育令により、奈良県師範学校と改称します。明治35年に女子部が設けられ、三年後の明治38年には奈良県女子師範学校として独立します。大正期は、この「師範学校」と「女

子師範」とで幕を開けます。更に、大正10（1921）年には奈良県実業補習学校教員養成所が開校し、「師範学校」の整備と拡充の時代を迎えます。

写真①は大正5年のもので、「秋期陸上運動会クラス優勝記念写真」とあるものです。白い服の中に立つ4人が選手で、周りがクラスメートなのでしょう。一方教員の方は、大正2年のものとして、「師範学校職員一同」と題する写真②があります。

この頃の写真には、授業風景を撮影したものが多く見られます。写真③は、理科実験風景、写真④は柔道練習で、いずれも大正2年のものです。よく見ますと、全てポーズが撮られています。まだまだ、スナップ写真という時代ではないようです。同様に、写真⑤は女子師範の様子を撮影したもので、音楽の授業風景です。

昭和18（1943）年、奈良県師範学校と女子師範学校は統合・官立移管され、奈良師範学校の男子部・女子部となります。奈良県実業補習学校教員養成所は、昭和10

年に奈良県立青年学校教員養成所と改称され、昭和19年には奈良青年師範学校として官立移管されます。二つの師範学校が統合して、奈良学芸大学が発足するのは、大戦後の昭和24（1949）年のことです。昭和初期の写真は少なく、写真⑥は、女子寄宿寮での「静座」を写したもので、當時を語る貴重な一枚と言えるでしょう。

120周年記念事業については、本学ホームページ、または秘書・企画課（電話0742-2719104）にお問い合わせください。



①



②



③



④



⑤



⑥